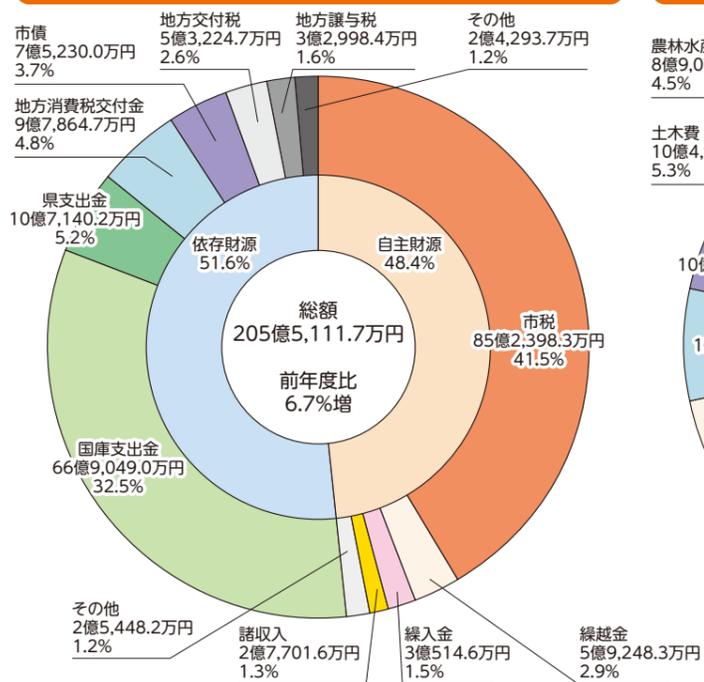


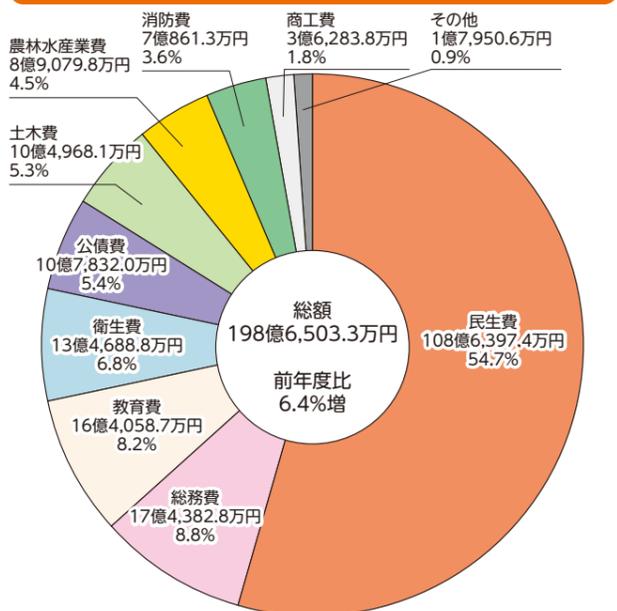
令和2年度 決算報告

令和2年度歳入歳出決算が、議会において認定されました。市民の皆さんや事業所などから納めていただいた税金などが、どのように使われたのかをお知らせします。一般会計では歳入決算額 205 億 5,111.7 万円(前年度比 6.7%増)に対し、歳出決算額 198 億 6,503.3 万円(前年度比 6.4%増)となり、令和2年度へ繰り越した事業に充てるための財源 3,209.9 万円を除いた実質収支が 6 億 5,398.5 万円の黒字になりました。また、令和2年度のみの収支を示す単年度収支は 1 億 2,465.0 万円の黒字となりました。また、その額に実質的な黒字・赤字の要素である令和2年度中の財政調整基金への積み立てや取り崩しを加味した実質単年度収支は、2 億 2,699.9 万円の黒字になりました。

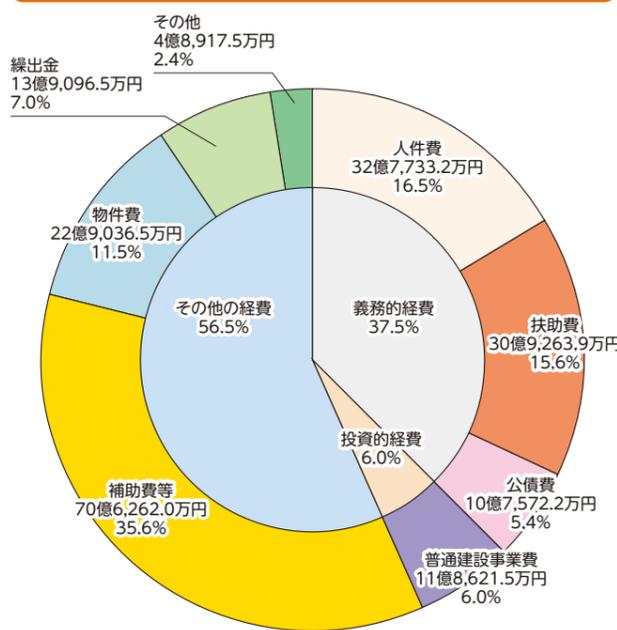
一般会計 歳入



一般会計 歳出(目的別)



一般会計 歳出(性質別)



主な歳出事業

■総務費	
コミュニティバス運行事業	1 億 46.7 万円
■民生費	
特別定額給付金給付事業	44 億 6,159.0 万円
子ども医療費助成事業	1 億 7,043.0 万円
後期高齢者医療事業	4 億 5,024.7 万円
■衛生費	
市営火葬場建設事業	2 億 8,455.8 万円
ごみ収集事業	1 億 9,677.1 万円
■農林水産業費	
農業基盤整備事業	2 億 4,028.4 万円
■商工費	
企業誘致事業	1 億 3,225.3 万円
■土木費	
道路改良事業	1 億 9,222.3 万円
■消防費	
海部南部消防組合負担金事務	6 億 318.1 万円
■教育費	
小中学校管理運営事業(うち学校情報機器購入費)	1 億 7,299.6 万円
小中学校管理運営事業(うち学校ネットワーク環境整備工事)	1 億 5,300.3 万円

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
土地取得	2億6,005.9万円	2億6,005.9万円
国民健康保険	38億6,814.7万円	37億5,768.3万円
後期高齢者医療	6億2,885.9万円	6億2,820.4万円
介護保険	34億799.1万円	33億1,205.2万円
合計	81億6,505.6万円	79億5,799.8万円

企業会計

会計名	収益的収支	資本的収支
下水道事業	収入額	11億720.6万円
	支出額	13億6,507.4万円

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 2 億 5,786.8 万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額 3,389.5 万円、引継金 3,392.1 万円および当年度分損益勘定留保資金 1 億 9,005.2 万円で補てんしました。

市債(長期借入金)の借入状況

会計区分	元年度末現在高	2年度末現在高	増減
一般会計	146億8,188.5万円	144億999.7万円	△2億7,188.8万円
企業会計	77億4,342.9万円	79億9,691.2万円	2億5,348.3万円
合計	224億2,531.4万円	224億690.9万円	△1,840.5万円

【一般会計の市債現在高】

	元年度末現在高	2年度末現在高	増減
市民1人当たり	329,175円	325,378円	△3,797円
1世帯当たり	806,963円	788,854円	△18,109円

※ 令和2年1月1日現在の弥富市の人口は 44,602 人、世帯数は 18,194 世帯
※ 令和3年1月1日現在の弥富市の人口は 44,287 人、世帯数は 18,267 世帯

基金(将来の蓄え)の状況

市は令和2年度末現在、特定の目的のために9の基金を設けています。大きく分けると一般会計の基金が6(財政調整基金など)、資金を運用する基金が1(土地開発基金)、特別会計の基金が2(国民健康保険支払準備基金など)あります。

	元年度末現在高	2年度末現在高	増減
一般会計	15億2,307.7万円	15億9,425.5万円	7,117.8万円
市民1人当たり	34,148円	35,998円	1,850円
1世帯当たり	83,713円	87,275円	3,562円

健全化判断比率などの公表

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて財政の早期健全化および財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るための行財政上の措置を講ずることにより、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的とする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、各地方公共団体が算出・公表する指標のことです。

公表するのは、健全化判断比率のうち、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4指標と資金不足比率です。

令和2年度決算に基づき算定された弥富市の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおりで、全て基準を下回っておりますが、今後も慎重な財政運営に取り組みます。

指標	弥富市	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	13.29	20.00
②連結実質赤字比率	-	18.29	30.00
③実質公債費比率	5.7	25.0	35.0
④将来負担比率	96.8	350.0	-

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「- (該当なし)」で表示しています。(単位: %)

指標	企業会計	弥富市	経営健全化基準
資金不足比率	農業集落排水事業会計	-	20.00
	公共下水道事業会計	-	

※資金不足比率がない会計は「- (該当なし)」で表示しています。